

自治体名	秋田県男鹿市
日時	2013年2月22日(金) 18:30～20:30
場所	男鹿市総合体育館 会議室
出席者	男鹿市教育委員会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、市体育協会、地区体育協会、市中学校体育連盟、総合型地域スポーツクラブのスポーツ関係者 17名
テーマ	男鹿市の10年後のスポーツ環境を考える
議事要旨	<p>男鹿市は、2007年開催の「秋田わかすぎ国体」で、総合体育館をはじめスポーツ関連施設が整備され、現在は、スポーツ大会やスポーツ合宿誘致に取り組んでいる。今回の意見交換会では、男鹿市の10年後のスポーツ環境について思慮すべく、現状把握に努めた。</p> <p>出席者からの主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化で、スポーツ少年団の団員数が減少し、低学年と高学年が一緒に練習せざるを得なく、学年に応じた指導ができていない。中学部活動は、部員数減少による活動衰退で、合同チーム等で活動環境を維持 ・ 未就学児に対する新たな対応と子ども達の複数種目への取り組み、非参加層へのアプローチ等を課題とし、中長期的に子どものスポーツ環境を考える必要がある ・ 子どものスポーツ環境充実に向け、スポーツ少年団と中学校部活動の受け皿機能としての総合型スポーツクラブのあり方、スポーツ推進委員をはじめとした指導者の確保が課題 ・ スポーツ合宿は、東北6県への周知を積極的に実施し高校生のラグビー、サッカー、バスケットボール等を中心に継続的な受入れに繋がっている。スポーツ施設と宿舍との利便性が悪く、効率性に問題がある。ハード面のマイナス要因を地元民のおもてなしでカバーするなど、男鹿市オリジナルの魅力を付加させることが必要 ・ 公共スポーツ施設の市民への利用料無料化で、3年前から施設利用率が向上。体育館を併設する地区公民館が市内に9施設あり、地域のスポーツ活動の拠点として機能している。老朽化したスポーツ施設も多く、今後の維持・補修が課題
まとめ	<p>スポーツ関係者が一堂に介し、男鹿市におけるスポーツ振興の現状、課題を共有する初めての会となった。今後のスポーツ振興のあり方考えるうえで、以下のテーマが確認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 未就学児、小学生、中学生のスポーツ環境 2) 総合型地域スポーツクラブのあり方 3) スポーツ合宿誘致におけるオリジナリティの創出 4) 市民へのスポーツボランティア文化の醸成 5) 公共スポーツ施設の老朽化に伴う維持・補修対応